



第31回 宮崎「橋の日」イベント写真報告



(戸敷市長ご挨拶)



(準備の様子)



(橋への献花風景)



(点字ブロックの清掃)



(点字ブロック清掃前右側と清掃後左側)

8月4日(金)宮崎市の橋橋にて、「橋の日」イベントを110名の参加で実施。式典では、戸敷市長、国土交通省宮崎河川国道事務所 鈴木所長、宮崎土木事務所 土屋喜弘所長よりご挨拶をいただきました。その後、橋への献花、点字ブロックの清掃(協力:宮崎県鋼橋コンクリート構造物塗装協同組合)を行いました。雨天のため、橋磨きは中止となりました。

■ 相生橋見学ツアー 「橋の日」に橋に入ろう！ 協賛：公益財団法人宮崎県建設技術推進機構

第31回宮崎「橋の日」イベントに合わせて、相生橋の見学ツアーを2回実施し、合計20名が参加しました。



ツアーへ出発！「橋クイズ」も行いました。



高所作業車も初体験。



水道管が通っているんだって..

■ 国道220号橋橋夏休み親子体験見学会 & 「道路老朽化対策」パネル展開催

主催:国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所



見たり、触ったり、叩いたりする橋のメンテナンス作業



多数の展示パネルにてくわしく紹介されました。



■ 道路環境美化功労表彰を受けました。

平成28年度に国土交通行政の円滑な推進に功績が認められ、宮崎「橋の日」実行委員会が宮崎河川国道事務所より所長表彰(道路環境美化功労)されました。上記写真は、当会の日高孝会長と宮崎河川国道事務所 鈴木彰一所長。



■ 紹介パンフレットが完成！

公益財団法人宮崎県建設技術推進機構の協賛により、「橋の日」の活動を紹介するパンフレットを製作。県内外へ「橋の日」をPRのため、活用していきます。

宮崎「橋の日」実行委員会

事務局
宮崎市佐土原町下那珂2574-6
担当:鶴羽(つるは)
連絡先:090-9566-4159

補修や点検作業「大変」

宮崎市「橋の日」市民催し

本県発祥の記念日「橋の日」の4日、橋に感謝する式典(実行委主催)が宮崎市の橋橋で開かれ、建設業者や児童、生徒など約110人が参加した。式典で実行委の日高孝会長が「これを機に橋の役割を再認識し、感謝と共に郷土愛を育むきっかけにしてほしい」とあいさつした。私財を投じて初代の橋橋を架けた福島邦成(1819〜98年)のひ孫に当たる福島順一さん(88)同市中村西1丁目11から8人が親柱に献花した。式典後には欄干の汚れを拭き取る清掃活動が予定されていたが雨のため中止になった。関連イベントとして橋の補修などを紹介するパネルの展



「橋の日」関連イベントで橋橋の点検作業を体験する親子

(宮崎日日新聞 2017年8月8日掲載)

示と、点検作業を体験できる催しがあった。点検作業を体験した同市佐土原町下田島の広瀬小6年、井上幹菜さん(11)は「コンクリートをたたくと悪い所は音が違うことがわかった。作業は大変だなと思った」と話していた。実行委によると、「橋の日」のイベントは1986(昭和61)年に延岡市で始まり、宮崎市では87年から行われ今年で31回目。現在は47都道府県すべてで実施されている。(中村和彦)

